職業講話（第三小学校）

と　き	令和4年 12 月 2 日（金）13:30～14:15
ところ	沼津市立第三小学校　教室
対　象	6年生（58 名）

沼津警察署

警察官に採用された当時は女性の割合は非常に少なく、結婚して出産すると仕事を辞める人も多かったですが、今では女性犯罪者の増加や、DV や性暴力といった被害を受けた女性のケアといった女性にしかできない仕事も増えてきており、女性警察官のニーズが高まっています。

そのため、現在では、育児休業制度の整備など、子育てしやすい環境が充実してきたことにより、女性でも警察官として活躍することができるようになってきました。

子供からお年寄りまで様々な人と関わる仕事なので、仕事をする上では相手の立場になって考えること・話すことを常に心掛けています。

沼津市立病院

沼津市立病院では 174 名の女性スタッフと 18 名の男性スタッフがおり、私の所属では女性が 16 名、男性が3名おりますが、男性・女性がそれぞれの立場や目線で感じたことを、お互いに意見を出し合いながら仕事をしています。また、病院では看護師同士だけでなく、様々な職種の人と関わり合いながら仕事をします。看護師の仕事は、患者さんやその家族、医師やスタッフなど、人と人が繋がっている中で橋渡しをする役目だと思っています。

新型コロナウイルスのような新しい事例が発生した際の対応の難しさなどはありますが、患者さんから感謝の言葉をいただいたり、患者さんが元気に退院する姿を見届けた時には、この仕事をやっていて良かったなと感じます。

子育て支援課

男性保育士はまだまだ少ないというのが現実ではありますが、女性に比べ力があるので、子供たちとダイナミックな遊びができるという男性保育士ならではの強みがあります。また、仕事を通して経験したことを、自分の子育てにも生かせるというメリットもあります。また、保育士は国家資格なので、女性の場合、結婚や出産で一度仕事を辞めても、資格を生かし出産後に復職することもできます。

事務的な仕事や保護者への対応などもあり、子供が好きというだけでは続かない仕事ではありますが、子供の成長を身近に感じられる素敵な仕事だと感じているので、性別に関わらず、将来保育士なりたいと思ってもらえたら嬉しいです。